

令和8年度 第1回かながわコミュニティカレッジ運営委員会 議題1及び議題2に係る会議録

○開催日時：令和8年7月30日（木）13時30分～15時30分

○開催場所：かながわコミュニティカレッジ講義室1（かながわ県民センター11階）

○出席者（敬称略・50音順）

伊藤 真木子（青山学院大学コミュニティ人間科学部コミュニティ人間科学科 教授）

大坪 直子（（公財）さわやか福祉財団ふれあい推進事業 推進担当）

齋木 真紀子（（一社）神奈川県中小企業診断協会 理事）

坂田 美保子（（特非）湘南NPOサポートセンター 理事長）

澤岡 詩野（東海大学健康学部健康マネジメント学科 教授）

西 あい（公募委員）

1 「議題1 令和8年度 運営委員会の進め方」について

（県事務局より資料1に基づき説明）

伊藤座長

昨年度と同様のスケジュールということですが、よろしいでしょうか。そうしましたら、県事務局には、このスケジュールに基づき、進めていただきたいと思います。

2 「議題2 令和8年度 運営業務の実施状況(4～6月)(中間報告)」について

伊藤座長

続きまして議題2「令和8年度運営業務の実施状況」につきまして、ご報告いただきます。こちらは議論いただく案件ではなくて、受託事業者による報告事項になります。

ご説明をお願いいたします。

受託事業者

お手元にあります、資料2-1と資料2-2でご説明させていただきます。

資料2-1につきましては数字が固まったもののみを記載させていただいています。

今年度の講座計画は、主催講座が27講座、連携講座が9講座、特別講座が1講座、合計37講座について、4月から準備を進めており、いま現在、講座の運営を特に変更点なく、計画どおりに進めさせていただいております。

資料2-2の1（2）をご覧ください。

37講座につきまして講座の運営・実施、広報を含めた調整を行っています。うち22講座についてはチラシを作成し進めている段階です。

1（3）についてですが、横須賀市で開催される講座ですが、8月1日から開講いたします。「これからの私の暮らしデザイン」で、横須賀市での地域のつながり・支え合いをテーマに全4回の日程で講座を実施する予定です。横須賀市役所、横須賀市市民活動サポートセンターの協力を得ながら実施をさせていただきます。会場の横須賀市総合福祉会館については県の協力を得てお借りする形になり、会場料が減免されて開催することができました。あらかじめ会場を抑えさせていただいて、運営ができる状態となっております。

「1（5）のボランティア活動未経験者層の参加促進講座」につきましては、6月14日に開講することが出来ました。非常に早い時期でしたが、かながわ県民活動サポートセンターのボランティア活動サポート課の協力で、早めに「県のたより」の広報を準備いただいたり、チラシも4月の段階で完成し、広報がスタートできたこともあり、申込は140名、受講者人数は122名という、この時期にしてはかなり多くの人数を集められたのではないかと思います。受講された方たちがコミュニティカレッジのことを知って、受講に結びついたり、これからの活動に活かしていただきたいなと思っています。

アンケートにつきましては、別紙をつけていますのでそちらをご確認ください。

2ページをご覧ください。

「1（6）修了生の地域・社会活動への参加の促進及び活動支援業務」ですが、令和7年度の講座修了生が自主グループを作って、令和8年度の4月から講義室を利用して活動を進めています。非常に皆さん熱心で、定期的に集まり勉強会や情報交換を行っています。次につながるステップなので事務局も協力させていただきながら、声をかけつつ実施をしていただいています。

「1（7）受講生募集のための広報業務」ですが、先ほどすでにチラシを作って配架も順調に進んでいるというお話をさせていただきましたが、お手元の「令和8年度年間講座スケジュール」を作成し、すでに公共施設に配架いたしました。毎年この「年間講座スケジュール」を、「今年は何の講座があるんだろう」と楽しみに待っていらっしゃる方もいらっしゃると思います。早目に完成させて、配布できてよかったと思っています。

2ページの一番下の広報のSNSについてですが、Instagramを去年から始めており、フォロワーが6月の末時点で202人になり、200人を突破いたしました。受講生にも案内し、講座終了後に登録いただいています。

3ページをご覧ください。

令和7年度に作成した「令和7年度活動報告」を、講座の受講生や公共施設に配架いたしました。

また、6月9日から私ども「ソーシャルコーディネートかながわ」で開設しております、かながわコミュニティカレッジのホームページをリニューアルいたしました。少し情報が古くなっていたり、見にくくなっている部分もありましたので、必要なものについては情報の整理をして、利用しやすいような形で、ホームページを開設していますので、よろしければご覧ください。

「1（9）その他かながわコミュニティカレッジ運営のために必要な業務」につきましては、令和7年度講座修了生に対して修了生アンケートを実施しておりますので、次回の11

月の運営委員会にはご報告できると思います。

「1 (10) 自由企画提案業務」ですが、自由提案としまして、今年度「受講のしおり」を作成いたしました。これまでは「受講にあたっての連絡事項」を皆さまにお配りしていましたが、「講座での学びを、地域で活かすには」や、「ボランティア活動を始めたいと思ったら」などのヒントや窓口の紹介も入れました。また、「Q & A」には、例えば「情報収集は、どんな情報を集めたらいいですか」「ボランティアをするには費用がかかりますか」といった、ボランティア初心者の方向けの内容も入れております。受講のしおりは主催講座、連携講座それぞれの受講生に配付しています。

受講生、修了生への情報提供としては、修了生アンケートに近況報告シートを同封し、寄せられた方のシートを講義室1の廊下に掲示しています。講座の休憩時間等に受講生が読んでいる姿もあり、参考になっているのではないのでしょうか。よろしければ帰りにご覧いただけたらと思います。

ご報告は以上です。

伊藤座長

ありがとうございます。ただいまご説明いただいた令和8年度運営業務の実施状況につきまして、ご質問等ありましたらお願いいたします。

澤岡委員

素晴らしい活動報告どうもありがとうございます。この「受講のしおり」、すごく素晴らしいですね。受講された方も、それから受講される前の方でまだ迷っている方にとっても、すごく有益な情報が一杯入っており、受講された方だけではなく配付できるといいなというくらい、中身が濃くていいしおりだなと思いました。

特別講座の「みんなの社会的処方」のアンケート結果を拝見しているのですが、入口で社会的処方って結構ハードルが高くなってしまっているのではないかと考えていたのですが、今回受講された方が沢山いらっしゃった中で、いままでの受講者層と何か違った点などはございましたか。

受託事業者

アンケートの結果なので何とも言えないのですが、コミュニティカレッジを知らない方たちが半分ぐらい集まっていらっしゃる中で、カレッジの紹介が出来たというのは非常に大きかったかなと思います。

ただ今回だけに限りませんが、特別講座の場合、6～8割の方がボランティアを経験しているということが多いです。県のたより、チラシ、SNSもそうですが、そこに目が行く人たちは、何らかのボランティアをやっていたり、意識が向いている人で、そういった方たちが目にする機会が大きいのではないかと思います。

まずは、コミュニティカレッジという存在を知っていただくということが大事で、次に、ボランティア活動をもう一度やってみようとか、まだやったことがないからやってみよう

いう流れになっていると感じます。

参加された方はとても前向きで、何かしら地域のためにやっていきたいという感想がとても多かったので、そういう意味では積極的な方が多かったという印象です。

伊藤座長

ご説明いただきまして誠にありがとうございました。

(受託事業者退席)

※「議題3 令和7年度 運営業務の評価」「議題4 令和9年度 講座編成の考え方」については、神奈川県情報公開条例第5条で規定する非公開情報に該当することから、非公開としております。